



研究部会報告

● 評価の OR ●

・第7回

日 時：5月15日(土) 13:30~16:00

出席者：13名

場 所：政策研究大学院大学

テーマと講師：

(1)[Local evaluation of separate evaluators in AHP]

高橋磐郎 (筑波大学名誉教授)

複数評価者が複数評価対象を一对比較する大規模 AHP において、対数最小二乗法に基づき評価対象ウェイトならびに評価者パラメータを推定する方法を提案した。測定値に指数パラメータが付与された乗法モデルに対し、対数線形モデルによる最小二乗推定を行い、各評価者がどの評価対象の一对比較を行えば効果的であるかのデザインを考察した。

(2)[Dealing with undesirable outputs in DEA]

刀根 薫 (政策研究大学院大学)

好ましくない (undesirable) 出力項目が含まれる場合の Slack を考慮した効率測度 (SBM) を提案し、双対問題にもとづく経済学的解釈を与えた。出力項目の好悪が分離不可能な場合における、Slack 考慮測度 (SBM) を拡張した。好ましくない出力項目に対する既存対処法と比較し、提案する非ラジアル非指向の効率測度の優越性を主張した。

● 待ち行列 ●

・ワークショップ開催報告

日 時：6月17日(木) 13:00~17:45

6月18日(金) 9:00~12:05

出席者：43名

場 所：サンシップとやま (富山県総合福祉会館)

テーマ：「新しいネットワークのモデル化と性能評価」

共 催：電子情報通信学会情報ネットワーク (IN) 研究会

一般発表 (14 件) では主にエンドツーエンドの品質保証やバックボーンにおける各種の性能評価、および移動体通信に関する研究成果が報告された。招待講

演 (2 件) では、待ち行列部会から無線 LAN, IN 研究会からセルラー網を題材として、それぞれ移動体通信の性能評価に関わる発表が行われた。

・第179回

日 時：7月17日(土) 14:00~16:30

出席者：20名

場 所：東京工業大学西8号館 (W) 809号室

テーマと講師：(*は講演者)

(1)[多重クラス待ち行列システムの実現可能性判定問題に対する高速解法]

* 井床利生 (日本 IBM 東京基礎研究所), 岩田 覚 (東京大学)

多重クラス M/M/1 待ち行列システムを例にとり、クラスごとの平均サービス要求時間をパフォーマンス変量としたときに、その領域が特殊な形の多面体で表わされることが示された。また、この分離問題を n の 2 乗オーダーで解けることが証明された。

(2)[M/G/1 変形モデルと再生サイクル法]

* 中塚利直 (東京都立大学)

M/G/1 変形モデルの新たな解析手法として、再生サイクル法が提案された。この手法で、簡単な再生サイクルを種々組み合わせて多くのモデルを表現し、その系内容数や待ち時間の分布を導出できることが示された。

● 21世紀モノ造りマネジメント ●

・第3回

日 時：6月24日(木) 18:00~20:00

出席者：28名

場 所：青山学院大学青山キャンパス総研ビル 9階 第16会議室

テーマと講師：

「リアルオプションアプローチによる適正発注量計画」

中島 睦, 石井信明 (日揮株)

リアルオプションにおける原資に生産計画のキャッシュフローを対応させ、製品の需要の増減や価格の推移などの可能性を考慮しながら各時点での発注量オプションを考慮して現時点での各発注量の現在価値を算出する方法について紹介があった。

● OR/MS とシステム・マネジメント ●

・第2回

日時：6月26日(土) 15:00~17:00

出席者：10名

場所：東京工業大学百年記念館2階第1会議室

テーマと講師：

「システム・マネジメントと組織知能—原点に立ち返った理解と研究の方向—」

佐口 功 (新潟産業大学)

システム・マネジメントによると、機能展開できる可能性を作れば、投資効果を最大に発揮させる方法として、組織にではなく機能に投資するという考え方ができる。また、要領の良い、有効な経営機能の遂行には、情報システムの人的側面と機械的側面の交絡による高い組織知能の貢献がものを言うのだという説明がなされた。

会 合 記 録

7月6日(火)	会長・副会長会議	3名
7月13日(火)	研究普及委員会	7名
7月14日(水)	庶務幹事会	8名
7月16日(金)	機関誌編集委員会	10名
	表彰委員会	4名
7月21日(水)	理事会	15名

会 員 訃 報

後藤 公彦氏 (法政大学教授)

平成16年8月2日、慢性腎不全のためご逝去されました。享年63才。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

第2回理事会議題 (16-7-21)

平成16年度第1回理事会議事録の件
入退会承認の件
第1・四半期収支の件
学生論文賞候補の件
支部予算に対する変更の件
文部科学省実地検査の件
会員名簿作成予算の件
学会ユーティリティセンターとの契約の件
情報コミュニケーション委員会の件
第14回企業事例交流会の件
第16回 RAMP シンポジウム予算案の件
平成16年度第1回 OR セミナー終了報告の件

● IFORS 2005 のご案内

・ The 17th Triennial Conference of the International Federation of Operational Research Societies
3年毎に開かれる IFORS の第17回大会が、以下の日程で開催されます。

日 程：2005年7月11日~15日

場 所：ハワイ、ホノルル

アブストラクト提出期限：2004年12月15日

*大会の案内状 (Call for Papers) が学会事務局にあります。ご希望の方は、ご請求下さい。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel.03(3815)3351 E-mail: jorsj@orsj.or.jp

*詳しくは、<http://www.informs.org/Conf/IFORS2005/>をご覧ください。